

令和7年度 第2回 西部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年9月25日（木） 午後3時から4時30分まで
- 2 開催場所 西部中学校 会議室
- 3 出席委員 藤谷昌宏 長野正弘 小楠達司 大渡三千子 島田泰行
松本鮎子
- 4 欠席委員 明石 真
- 5 学 校 鵜飼和生（校長） 永田行央（教頭） 前山大樹（教務主任）
宮崎幸枝（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 宮崎幸枝（CSディレクター）
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回の協議会の最後に推薦された藤谷委員から議長を務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 前回会議録の確認

前回会議録の確認が教頭からあった。

10 協議事項

(1) 本校における特色ある活動について

- ・ 学校評価の項目について（教務主任）
- ・ 部活動の地域展開について（教頭）

(2) その他

11 会議記録

司会から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 本校における特色ある活動について

議長の指示により、教務主任から、学校評価に関するアンケートについて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 豊明市でスマホの使用を1日2時間以内を目安とする条例が出されたが、西中のアンケート2(6)でスマホ利用についての質問があるので、それは続けてほしい。（小楠委員）
- ・ 入学説明会の時に、スマホ利用についてのモラル、リスクについて警察の方が来て話していただいている。家庭内で話し合ってルールを決めてほしい。（前山教務主任）
- ・ 肖像権や個人情報の取り扱いについてとても難しい時代になってきた。中学生からしっかりと教えてもらいたい。（藤谷委員）

- ・小学生に名前を尋ねても「個人情報だから」と答えるので、小学校から教えていただきたい。(大渡委員)
- ・部活動が縮小しているのに、「部活動に燃える西中」という項目は矛盾しているのではないか。(松本委員)
- ・当たり前5項目(17)の「呼ばれたら良い返事をしているか」だが近頃は、はいと大きな声であいさつできない子供もいる。やりたくても声にできない子供もいるので、出来た、出来ないで評価されるとつらいのではないか。(松本委員)
- ・内向的な性格の生徒にはつらいのでは。(小楠委員)
- ・当たり前5項目は西中が大変な時代に生徒が作った。当時としては内容が良かったが、今の時代なら見直しが必要かもしれない。西中ビジョン(6)の部活動を外すか考える時期かもしれない。(藤谷委員)
- ・令和8年度のグランドデザインを考える時にその問題を考えるべきではないか。グランドデザインを変更するのは難しそう。(長野委員)
- ・西中ビジョン(8)の内容はグランドデザインを見ながら考えるとより深い理解が得られる。(島田委員)
- ・アンケートを渡す時にグランドデザインを付ければ質問に対する考え方が真剣になるのでは。(小楠委員)
- ・アンケートを取っただけで終わらずに次につなげて欲しい。(藤谷委員)

(2) 部活動の地域展開について

議長の指示により、教頭から、部活動の地域展開についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・競技団体ごとにバラバラなので悩ましい。常に最新の情報を提供するのが保護者と子供のためになる。(長野委員)
- ・子供が選ぶので、子供にしっかり説明しないといけない。(松本委員)
- ・保護者の中には部活動が無くなってしまっている人もいる。地域クラブなら部活動にない種目もできる。カーリング、フェンシング、Eスポーツなど。(島田委員)
- ・学校の部活は教育的な意義があり、チームワークを育んだり弱い生徒でも試合に出られたりする。クラブチームでは勝つこと、強さを求められる。(小楠委員)
- ・まだ現段階では分からない事が多すぎる。(藤谷委員)
- ・休日の部活動の地域展開についての情報は小学校5,6年まで流してもいいと思う。(松本委員)

12 報告

(1) 学校支援コーディネーターより

地域人材の活用（2年生職業講話、職場体験）についての話があった。

(2) 学校より

協議会の任期は3年2期までだが、2期目もよろしくお願ひしたいと校長から発言があった。

13 その他連絡事項等

- ・次回熟議内容の確認及び次回議長の選出があった。
- ・教頭から、次回会議は、令和8年2月12日(木)午後3時から開催する旨の連絡があった。
- ・次回協議会の議長の選出について意見を求めたところ、引き続き藤谷委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。